

新しい夏休みの過ごし方 むこうだ寺小屋開催

8月17日(月)～28日(金)の間、西向田町のリブンプラスで、太平橋通り商店街とまちあいサロンの共催により「むこうだ寺小屋」が開催されました。これは、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年よりも短くなった夏休みを子どもたちに有意義に過ごしてもらいたいと企画され、地元企業などの協力による特別授業も実施されました。



▲でんき教室

▲川の調査

化石から薩摩川内市を学びました

8月1日(土)～9月6日(日)、甌ミュージアム恐竜化石等準備室で企画展「恐竜と火山と巨大湖の眠る街」が開催されました。

458人が来場され、サウロロフスの大型骨格標本や、市内の湖の地層から見つかったカエルやハチの化石に見入っていました。



夏休みの思い出

夏休みの期間、少年自然の家事業が開催されました。8月22日(土)から23日(日)の「キッズキャンプ」では、小学3・4年生29人が参加、8月30日(日)の「ファミリー自然体験隊」では、6家族15人が参加し、自然と触れ合いながら、普段体験できない活動を通してやり抜く力や冒険心などを育みました。



三密避けて大空へ！！

愛宕ビスタパークで、風になびく吹き流しの下で必死に走り、青い空に青いパラグライダーを広げるのは、78歳の佐原芳孝さん(隈之城町)。

25年もの間、仕事の合間や天気と相談しながら入来町の空を飛んでいる佐原さんは「もう引退かな」と言いながらも「庭仕事よりもパラグライダー」と今日も丘から空へ羽ばたきます。



情報提供：神野竹虎さん

がんばろう薩摩川内

8月16日(日)、川内川左岸で悪疫退散と地域経済の復興を願った3分間の花火が打ち上げられました。これは、市内の金融機関で構成された「川内金融団三水会」の主催によるもので、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった川内川花火大会が例年開催される16日に合わせ、企画されたものです。



みんなの思い出に サプライズ花火

8月22日(土)、新型コロナウイルス感染症の影響で行事が中止になる中、御陵下会主催、可愛小学校PTA計画の下、6年生に思い出を残したいと夜の学校でお楽しみ会が開かれ、サプライズで花火が打ち上げられました。地域の魅力再発見につながるすてきな会となりました。



情報提供：御陵下会

「まちの話題」は、市民の皆さんから情報提供をいただき、身近な話題を掲載しています。ぜひ投稿ください。

新しい生活様式に潜む 火災危険 with コロナ を知ろう!

編集/薩摩川内市消防局予防課 <http://www.satsumasendai-fd.jp>

薩摩川内市消防局

検索

私たちは現在、新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」を取り入れた日常を送っていますが、その「新しい生活様式」の中に潜む火災危険を知っていますか？

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、各事業所や店舗のカウンターに、飛沫防止のビニールシートを設置したり、消毒用アルコールが至る所に置いてあります。これらは感染拡大防止対策として有効ですが、注意点や正しい使い方を知らないと、火災に発展する恐れがあり、実際に、大阪府のショッピングセンターで、ライターを買おうとした客が試しに点火したところ、レジカウンターのシートに引火する騒ぎがありました。

以下の点に注意し、「新しい生活様式」においても火災予防に心掛けましょう！



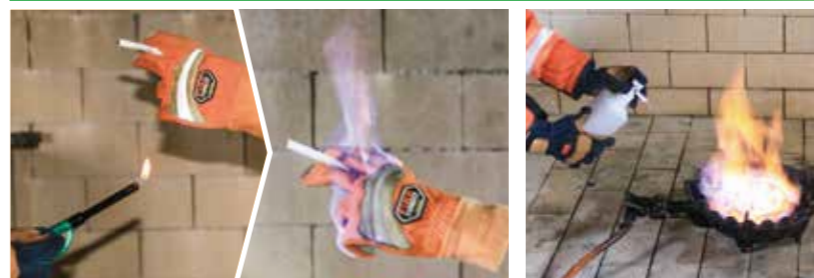
薩摩川内市消防局において実験してみました!!

非防火性の飛沫防止シート燃焼実験



- ポイント
- ①ビニール製やナイロン製の飛沫防止シートは燃えやすい性質があり、延焼する危険が大きい。
 - ②火を扱う厨房や、熱を持つ電球の近くで使用しない。
 - ③防火性能を持つシートなど、燃えにくいものを使用する。
 - ④煙感知器やスプリンクラーなどの消防用設備の障害とならないように設置する。
 - ⑤いざという時の、避難の障害にならないように設置する。

消毒用アルコール引火実験



- ポイント
- ①消毒用アルコールは引火性が高いため、コンロや火気の近くでは使用しない。
 - ②アルコールが十分に乾いていない手でタバコを吸わない。
 - ③直射日光が当たる場所や高温となる場所に保管しない。
 - ④高濃度の消毒用アルコールを大量に保管する場合は、事前に消防署へご相談ください。

秋季全国火災予防運動を実施します!

11月9日(月)から11月15日(日)まで、全国一斉に秋季火災予防運動を実施します。秋は空気の乾燥や暖房器具の使用などにより、火災が発生しやすい季節です。火の取り扱いや火の始末には十分注意しましょう!

新型コロナウイルスによる119番通報時等の聞き取りについて

「119番通報時の通信指令課員」と「現場に駆け付けた救急隊員」が新型コロナウイルスに関する聞き取りを行っています。この聞き取りは、安全で適切な救急医療のために必要ですので、ご理解とご協力をお願いします。

